

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年6月23日発行

— 2016.6.13 ~ 2016.6.19 — 第24週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第21週	第22週	第23週	第24週
水痘	6 1.20	2 0.20		7 3.50	2 0.67	3 0.60	1 0.50	36 1.33	57 0.97	725	○	○	○	○
流行性耳下腺炎	12 2.40	4 0.40			3 1.00			6 0.22	25 0.42	546	レ	○	レ	○
百日咳									0 0.00	9				
感染性胃腸炎	61 12.20	39 3.90	23 4.60	15 7.50	8 2.67	19 3.80		177 6.56	342 5.80	9,416	◎	◎	◎	◎
手足口病			4 0.80						4 0.07	25				
伝染性紅斑	1 0.2							2 0.07	3 0.05	244	○	レ		
突発性発しん	3 0.60	7 0.70	5 1.00		2 0.67	4 0.80	2 1.00	15 0.56	38 0.64	733	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		13 1.30	1 0.20						14 0.24	38				
インフルエンザ	3 0.38					15 1.88			18 0.19	28,034	◎	レ		
咽頭結膜熱	1 0.20	7 0.70	4 0.80	1 0.50	2 0.67	4 0.80		23 0.85	42 0.71	428	○	○	○	○
流行性角結膜炎		1 0.33							1 0.08	65				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24 4.80	39 3.90	18 3.60	5 2.50	6 2.00	20 4.00	1 0.50	103 3.81	216 3.66	5,811	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			1 1.00						1 0.08	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎	4 4.00			1 1.00	1 1.00			2 0.40	8 0.67	168				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症						1 0.20	1 0.50		2 0.03	270				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	12				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2		4					3					
	川崎病													
	不明発疹症								3					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名(第23週)、男性1名
栗原管内 男性1名
仙台南管内 男性3名、女性5名、男児1名※

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙台南管内 男性1名、女性2名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙台南管内 女児1名※

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

仙台南管内 男性1名
アメーバ赤痢
仙台南管内 男性1名
梅毒

仙台南管内 男性1名、女性1名
※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙台南管内、石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

塩釜管内 第24週採取分 ノロウイルスGⅡ群 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第21週採取分 (5.23～5.29)	第22週採取分 (5.30～6.5)	第23週採取分 (6.6～6.12)
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	2件	1件	0件
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	0件
アデノウイルス	1件	1件	0件
ライノウイルス	7件	0件	0件
サイトメガロウイルス	2件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	2件	8件

※第20週から「パラインフルエンザウイルス3型」が継続して分離されていましたが、第23週になり分離数が増加しています。

4. 今週のコメント

【結核】

全数報告疾病の中で最も報告数が多い感染症で、2016年第24週までの県内の報告数は既に225例あり、2015年の1年間の報告数330例からみると、昨年を上回るペースで増加しています。高齢者の免疫力低下に伴う再燃が目立ちますが、若年層の報告もあり、注意が必要です。また、集団感染事例も例年報告があります。発症した際には早期発見、早期治療が重要となり、感染予防にもつながるため、長く続く咳や発熱などの疑わしい症状がみられた場合は早めに医療機関を受診することを心がけてください。また、定期的に健康診断を受けることやBCGの接種を確実に受けるなど、感染予防につとめてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kanssen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

